

福岡市

20周年を迎えた福岡市都市景観賞に対して

福岡市の景観づくりは、「誘導」「育成」「顕彰」の3本柱を掲げ、都市景観賞はその一翼を担う事業として1897年に創設され、表彰総数約150点を数えた。初めの頃の建築中心の賞から活動やエッセーを加えて市民参加型の賞へと成長した。わが国最大規模の市民参加型の景観賞として発展し、併せて20年の景観行政の蓄積と成果が評価された。



福岡市都市景観賞は本市の都市景観の向上と景観に対する市民意識の高揚を目的に、昭和62年に創設し、今回20回目を迎えた。この間、150の優れた作品や活動を表彰し、都市が発展していく中で、景観誘導や業界の育成と並ぶ景観行政の一つとして、目指す方向を示してきた。

賞の実施に際しては、詳細を省いた応募、受賞作品の紹介、情報誌の発行等、市民の積極的な参加を図る試みを行っており、結果、毎年500件にも及ぶ推薦がなされる賞に成長している。市民の意識の高さに支えられ成人を迎えた福岡市都市景観賞。その活動がSDA賞特別賞受賞として認められたことを市民と共に喜び、今後も市民と共に良好な景観の蓄積を図っていききたい。